

筑豊支部へようこそ

日本野鳥の会筑豊支部 (<http://yacho.org/>)

日本野鳥の会筑豊支部(以下、本会)へご入会、たいへんありがとうございます。新しい会員のみなさまへ、本会の楽しく有意義な活動内容をご紹介します。項目を拾い読みまたは一通り目を通していただき、ぜひ活動への積極的なご参加をお願いいたします。不明な点や疑問など info@yacho.org、行事担当、役員へお気軽にお尋ねください。



ヤマガラ成鳥
波多野邦彦・画

行事のご案内

会員は本会のすべての行事に自由に参加し、楽しむことができます。行事予定のご案内は月刊会報「野鳥だより・筑豊」および公式ウェブサイト(ホームページ)「くまたか」<http://yacho.org/a/617>にて毎月公開しています。一部を除き原則として事前のお申込みは不要です。直接集合場所においでください。すばらしい自然と一期一会の多彩な活動にはきっと魅了されることでしょう。

野外行事

いずれの行事も現場にて担当へお申し出があれば、親切にご指導いたします。行事にはそれぞれ探鳥会保険 <http://yacho.org/a/326> またはその他の保険を掛け、不十分ながら万一の際の補償をしています。

探鳥会(たんちょうかい) 毎月数回、仲間とともに野外の探鳥地(フィールド)に出かけ野鳥を観察する探鳥会は、水辺や野山で、声を聞き、姿を観察しながら、種を識別(「用語と考え方」参照)する楽しいピクニックです。

自然観察会 植物をつぶさに観察し、識別の手法により種類を調べます。特に花や紅葉の季節は、素晴らしい自然に囲まれ、いっとき浮世の憂さを忘れることでしょう。

バスツアー 年1回、実費にて日帰りまたは宿泊により西日本各地の有名探鳥地等で観察します。多種の野鳥や珍しい種に出会えます。お申し込みが必要な行事です。

海外・遠隔地ツアー 不定期に計画されますが、参加人数に制限があり、費用も相応にかかります。お申し込みが必要な行事です。

調査活動 日々出会う野鳥を記録し発表する「**観察サイトノ鳥信記**」、主に英彦山山系の山中に録音機を設置し録音した音声から種を識別調査する「**無人録音調査**」、主に秋季、各地の上空を渡るタカ類「**ハチクマの渡り調査**」、秋季「**ヒヨドリの渡り調査**」、1月全国で開催の「**ガンカモ調査**」に参加。調査結果は、「くまたか」、「野鳥だより・筑豊」に発表されています。

室内行事

総会 2月中旬開催。新規提案や以前をふりかえり、一年間の運営方針・行事予定を決定する重要な会議です。日時・会場は本会メディアにてお知らせします。

鷹研(たかけん) **プラス** 毎月第2土曜日 13時から直方市・遠賀川水辺館で開催しており、会員の観察成果の発表や識別について学ぶ貴重な機会となっています。

運営委員会 本会の運営に関する会議です。毎月第4木曜日 13時から開かれ、行事の反省、当面の課題や活動予定などを審議する大切な会議です。本会会員ならどなた

でも参加し意見を述べるすることができます。会場は本会メディアにてお知らせします。

本会メディア

会報の月刊発行と、随時更新のウェブサイト（ホームページ）を運用しています。いずれも会員のみなさんからのご投稿（巻末連絡先まで）をお待ちしています。

野鳥だより・筑豊 月刊の会報「野鳥だより・筑豊」はすべての会員にアクセスの機会を提供する本会の基盤メディアです。会報は2種類あり、自前の印刷機によりモノクロで印刷作成しご住所にお届けする配送版と、同内容のダウンロード版（PDF）です。掲載画像はカラーで、PC やタブレットで読み、また精細に印刷することができます。読後も場所を取らず保管の手間が不要です（全既刊号は「くまたか」に収容）。既定は印刷版ですが、ご希望でダウンロード版を選択できます。

野鳥だより・筑豊 MM メールアドレスをお持ちの会員向けに会報の投稿募集やダウンロード版 URL のお知らせなど、同報メールで発行するメールマガジンです。

くまたか・<http://yacho.org/> 一般に公開され会員でなくてもアクセスできる本会の公式ウェブサイト（ホームページ）です。メール、FAX、郵送（宛先巻末）で文・写真・画像・録音・動画等のご投稿をお待ちしています。ページ作成は担当が行うため、インターネットの知識等は一切不要です。長く続けたい場合は、あなたのお名前ブログのような独自ページを無料で開き、気軽・容易に運用できます。

観察ツールのご紹介

観察には、最小限、双眼鏡と図鑑、フィールドノートがあれば十分です。その他のツールは、必要な見識を得た後で慎重に選択しましょう。購入に先立って本会にご相談くだされば選択のお手伝いができます。

双眼鏡 野鳥観察には、あれば非常に便利な道具です。長く利用しますので一生モノのつもりで、しっかり選択されるようおすすめします。

図鑑 「フィールドガイド 日本の野鳥」（[公財]日本野鳥の会、3960 円・税込）をおすすめします。多少高価ですが、これ1冊で野外では必要十分な力となります。今後、野鳥観察を趣味として検討されるなら、非常に良い選択となることでしょう。

フィールドノート 野帳。野外での使用を考慮し、水濡れに強い小型ノートが適しています。観察した野鳥や植物の特徴などメモします。後々役立つ確かな記録とするためなるべく観察記録様式（「観察記録」項目参照）で記しましょう。

用語と考え方

野鳥 自生（自ら孵化し）し自活（自ら暮らす）する鳥類。外来種も含まれます。

探鳥（たんちょう） 野鳥を観察、識別し、楽しむこと。野外で観察すると、自分を取りまく、大きく美しい自然を見つけ、親しむきっかけとなります。

識別（しきべつ） 観察により野鳥の種（しゅ、生物分類の基本単位）を特定する野鳥の会独自の方法です。野鳥はフィールドマークという種ごとに異なる独自の姿（色、形）とふるまい、声や音を持っています。さらに環境・季節を考え合わせて種を特定します。方法を習得するまでは多少の経験と時日が必要ですが、探鳥会に参加して先達からコツを学び、図鑑を参考に身近な野鳥を観察し識別してみましょ。識別の手法は植物にも応用しています。植物は野鳥と異なり目前で詳細に観察できるうえ、四季を通じて移動がなく変化を持続的に観察できます。植物のゆっくり時間に合わせ、あせらず気長に観察しましょう。なお、識別結果は同定ではありません。

鳥合わせ（とりあわせ） 探鳥会の最後に、参加者で合議し本日識別した野鳥の種をま

とめてリストを作成します。

花合わせ（はなあわせ） 自然観察会の最後に、参加者で合議し本日識別した植物の種類をまとめてリストを作成します。自生・自活でない種類はリストに入れません。

ローインパクト 本会行事では、周囲の自然環境をすべて仮の特別保護区とみなし、フィールド（探鳥・観察地）に入っても、なるべく周囲の環境に影響を与えないよう、標本採取はもちろん花・果実の採集、自然物の拾得、駆除、餌付け、鳥寄せなどは一切禁止しています。野鳥の会の基本原則です。厳守をお願いします。識別の本質は、対象を捕らえず、私物化せず、あるがままの自然を観察することにあります。

フィールドマナー 野外では安全第一を心がけて行動しましょう。◆静かにして、野鳥を脅かさないようにしましょう。◆野鳥の巣には近づかないようにしましょう。◆人の迷惑となるような撮影や観察はやめましょう。◆本会行事では捕獲や採集、持ち帰りは禁止です。◆自分のゴミは必ず持ち帰りましょう。

観察記録

本会では観察記録の必須項目（1～4）を定めています。ぜひ下記様式で記録し、ご報告ください。ご自分の観察記録をフィールドノートに記入の際もご活用ください。

1. 観察年月日（西暦年月日、表記例：1971-02-14）
2. 観察場所（メッシュコード* 表記例：@5030-3576、市区町村名）
3. 観察種（標準和名：野鳥、植物のカタカナ表記による正式な名称）
4. 識別者（識別した1名の個人氏名・実名）
5. 証明資料（写真、動画、識別根拠を記した証言など、証拠となる資料）

記録例：キジバト、コゲラ 2020-12-23 @5030-3576 飯塚市柏の森 野鳥花子

[*]メッシュコード 日本全国を約 1km のマス目に区切って各マスに 8 桁の数字を付した JIS 規格。本会では観察位置記録に使用。同定法ほか疑問、詳細はご遠慮無く巻末連絡先へお問い合わせください。 <https://is.gd/6gMexQ>（ウェブサイト）、<https://is.gd/77FRwo>（アンドロイド OS）、<https://is.gd/aS0C0x>（iOS）

担当の実務と実施手順

行事の円滑な運営のために、各種行事には担当が配置されます。担当は、会員ならどなたでもできますが、本会役員からの打診もあります。以下ご説明は野外行事を想定した実施手順ですが、室内の場合、配布用資料を作成せず、後はほぼ同じです。

※困難または面倒な実務については、普及部 fukyu@yacho.org がお手伝いします。

- ①**下見**：野外行事では、現状把握および危険防止のため、行事实施以前に予定コースの視察、検分をおすすめします。室内行事でも施設の下見は重要です。
- ②**広報**：担当月の会報締切日（毎月の1日が月～木なら第2日曜、それ以外第3日曜）までに 1. 集合日時、2. 集合場所、3. お誘い文、4. 担当氏名、5. 担当電話番号、6. 観察コース概略、7. トイレ有無・場所、8. 弁当の要・不要等を編集部 info@yacho.org へお知らせください。会報および「くまたか」に掲載します。
- ③**資料作成**：「行事参加者名簿」（以下名簿、<http://yacho.org/a/450>）1枚、配布用資料「ハンドアウト」<http://yacho.org/a/468>、「筑豊・京築の野鳥チェックリスト（音順）」（探鳥会用）<http://yacho.org/a/473> 作成、予想参加者数分準備。
- ④**現地受付**：当日は開始 30 分位まえから受付を開始し、参加費 100 円收受、行事参加者名簿に記入を案内後、③の配布用資料を渡します。
- ⑤**行事進行**：ハンドアウト右下「野外行事進行表（担当用）」により進行します。
- ⑥**費用**：掛かる費用は参加費から差し引き、領収書、残金とともに、行事参加者名

簿、観察種リストを普及部部長または役員へ引き渡してください。

⑦結果報告：参加者リスト・観察種リスト・担当ほかの現地で預かった感想文等を巻末連絡先へ（書類を撮影しメール送信も可）。会報、「くまたか」に掲載します。



日本野鳥の会筑豊支部

1971年福岡県飯塚市で前身の筑豊野鳥の会として発足。その後、公益財団法人日本野鳥の会に団体加盟し連携団体・日本野鳥の会筑豊支部となりました。現在、福岡県筑豊・京築地方を主なフィールドに、野鳥・植物を観察し楽しむ趣味団体・自然保護団体です。本会は公平で透明性のある運営を目指しています。



役員

名誉支部長1名、支部長1名、副支部長2名、事務局長1名（事務局次長2名）、各専門部部長・副部長は、総会において立候補による選挙または支部提案による選出で、任命されます。役員は全員、善意の無給ボランティアです。



専門部

本会は、円滑な運営のために各種専門部を設けています。会員は専門部部長に随時お申し込みのうえ専門部の一員となり、本会運営に関わることができます。

会計部 本会の会計を管理しています。

普及部 fukyu@yacho.org 探鳥会、自然観察会の運営、新規会員加入促進ほか外部への窓口担当です。

調査研究部 各種調査活動を行います。

販売部 （公財）日本野鳥の会の商品を販売しています。購入すれば会員割引により市価より割安となり、本会への割り戻しで会計に寄与することができます。

保護部 本会独自または他の自然保護団体と連携し、保護活動に努めています。

編集部 月刊会報「野鳥だより・筑豊」の編集・発行を担当しています。

植物部 hana@yacho.org 自然観察において、植物の観察と識別活動を担当しています。他の野鳥の会にはあまり見られない本会のユニークな取り組みです。

情報部 野鳥の会活動とは情報活動との認識をもち、「くまたか」を運営・管理しています。「くまたか」を通して野鳥ほかの観察記録の収集・保存に努めています。

野鳥展実行委員会 毎年1回夏、筑豊・京築各地で写真展示を主とした野鳥展を開催しています。委員会メンバーは既定ですが、会員は野鳥の写真を出展展示できます。

識別検討委員会 難し目の識別相談に応え、本会内外の識者間で審議します。

ご意見相談室 支部長の諮問会議。メーリングリスト（メンバー固定の相互メール同報サービス）により意見交換。室員メンバー参加には支部長の指名が必要です。

[Web会議] 事務局長の諮問会議として、毎月第4火曜日19時、自宅からインターネットで会議に参加。定員8名まで申し込み可（無料）。主に運営委員会の打ち合わせ。

[俳句] 野鳥をテーマとする俳句を募集。会報、野鳥展に発表しています。

※[]は専門部ではありません。

筑豊支部へようこそ

制作・発行 日本野鳥の会筑豊支部・編集部 2021-01-04

連絡先 info@yacho.org、FAX:0947-42-3576、

〒820-0011 飯塚市柏の森162-3

参考 「新規会員・くまたか会員の手引き」（森永光直）、イラスト 波多野邦彦、木村直喜（エナガ、クマタカ）、野村芳宏（英彦山スカイライン）

